

会 議 録

会 議 の 名 称	第 9 回 行 田 市 産 業 交 流 拠 点 整 備 基 本 計 画 検 討 委 員 会
開 催 日 時	平 成 29 年 2 月 23 日 (木) 開 会 : 18 時 00 分 閉 会 : 19 時 00 分
開 催 場 所	産 業 文 化 会 館 2 階 2 B 会 議 室
出 席 委 員 氏 名	小 林 乙 三 (行 田 市 環 境 経 済 部 長) 飯 嶋 隆 夫 (行 田 フ ラ イ ・ ゼ リ ー フ ラ イ 友 の 会) 大 野 真 理 ((公 社) 行 田 青 年 会 議 所) 戸 塚 昌 利 (NPO 法 人 行 田 観 光 物 産 会) 町 田 光 (NPO 法 人 魅 力 創 造 倶 楽 部) 西 田 信 子 (行 田 軽 ト ラ 朝 市 実 行 委 員 会) 堀 口 貴 子 (星 河 地 区 自 治 会 連 合 会) 市 川 ひ ろ み (星 宮 小 学 校 PTA) 太 田 彰 (公 募 市 民) 吉 田 明 夫 (環 境 経 済 部 農 政 課 長) 岩 田 樹 一 良 (総 合 政 策 部 企 画 政 策 課 長) 代 理
欠 席 委 員 氏 名	小 池 利 昌 (行 田 市 商 店 会 連 合 会) 泉 達 也 (関 東 道 の 駅 連 絡 会) 大 橋 菜 央 (リ ク ル ー ト じ ゃ ら ん 統 括 編 集 部) 長 谷 川 浩 (農 業 従 事 者) 大 澤 和 美 (長 野 中 学 校 PTA) 伊 藤 徹 哉 (立 正 大 学 地 球 環 境 科 学 部) 大 篠 一 也 (埼 玉 県 行 田 県 土 整 備 事 務 所) 告 広 子 (公 募 市 民)
事 務 局	商 工 観 光 課 : 柿 沼 産 業 振 興 推 進 幹、赤 城 主 事、西 山 主 事 ラ ン ド ブ レ イ ン 株 式 会 社 : 石 村、福 島、野 沢
会 議 内 容	・ 議 事 1) パ ブ リ ッ ク コ メ ン ト の 結 果 に つ い て 2) 産 業 交 流 拠 点 整 備 事 業 の 今 後 に つ い て ・ そ の 他
会 議 資 料	・ 次 第 ・ (資 料 1) パ ブ リ ッ ク コ メ ン ト 意 見 一 覧 ・ (資 料 2) 産 業 交 流 拠 点 整 備 事 業 の 今 後 に つ い て
そ の 他 必 要 事 項	・ 傍 聴 者 0 名
発 言 者	会 議 の 経 過 (議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等)
事 務 局 (柿 沼)	開 会 資 料 確 認
	委 員 か ら の 近 況 報 告
小 林 委 員 長	パ ブ リ ッ ク コ メ ン ト に つ い て 説 明 を お 願 い す る。
事 務 局 (赤 城)	(資 料 1) 「パ ブ リ ッ ク コ メ ン ト 意 見 一 覧」 に つ い て 説 明。
町 田 委 員	行 政 が 経 営 を す る と い う 考 え の も と の 意 見 で あ る。今 回 は 行 政 が 主 体 と な る の は ト イ レ、駐 車 場 で あ り、そ の 他 は 民 間 も し く は 指 定 管 理

	での経営をしていく。市民の税金がそこにつき込まれるという誤解がある。市民に誤解がないように細やかに説明する必要があるのではないか。
西田委員	道の駅がポツンとできるだけではなく、それぞれの施設ごとに管理運営も多岐にわたる。パブリックコメントの期間では理解しづらかったのかと思う。ほとんどが否定的意見である。市民が得るものや、その為のビジョンや、将来性を感じられる魅力が伝わってないように思った。市民にもっと道の駅の魅力を伝えるべきである。
堀口委員	総合公園に防災施設があるからいらないとのことだが、道の駅にも市民以外が使用できる場所として必要である。
町田委員	この検討に関する HP をみんな見ている。見ている方は、道の駅というと観光地のイメージをしている。
太田委員	私は会議の始めの頃は何がなんだか分からなかった。そのため、書いた方の気持ちが分かる。実際何もない状態である。「道の駅」という言葉だけが独り歩きしている。パブリックコメントも必然的にそうなると思う。 知り合いや友達は、なぜあそこに作るのかと言う。住居が埼玉地区なので遠い。17号の方がよい土地があるのではないかと、熊谷市の道の駅の近くに作って大丈夫かという意見もある。 しかし、やり方によっては、近くてもその分お客さんが来るのでやり方次第である。
西田委員	市では予算組はしていないとのことであるが、市で母体を作るのであれば、ここまで基本を作ったのだから、最終的には市はこれくらいの予算が必要であり、収益費や管理費といった数字もコンサルティング会社に出してもらった方がよいのではないか。 この意見を伝える時、世代、男女、地域の人に合わせたものにしたと思うが、核となる魅力を明確にした方がよいのではと思った。魅力ある施設が予定される中、ここの核となる一番の売りを明確に打ち出すべきではないか。お金がかかったものではなくても、農業体験ができるなど。売りを明確にすべきだと思う。
飯嶋委員	総合公園との連携の利用見込みだが、年間の公園利用者が約30万人、飲食利用したい市外利用者が13パーセントとなっているが、実

	際はこの1/10である。29万人は行田の人間がほとんどである。
事務局（赤城）	6～7割は市民である。総合公園は全国規模の大会もしている。
飯嶋委員	市内の人は飲食施設を利用せず、ほとんど持参する。市外の人はお金を使うが、平日は皆無である。1年間総合公園内で営業したが、平日は赤字である。土日大会があると、3万～4万円の売上という現状なので、見込みということだが、数字は全然違う。
西田委員	どんな風にやればよいと思うのか。
飯嶋委員	土日祝日だけということを検討してはよいのではないか。それに伴ってテナントも安くする。人件費を考えていない。従業員を使うと赤字になる。道の駅は別かもしれないが、総合公園に来る見込みは違うように感じる。
西田委員	総合公園との融合という意見か。
町田委員	<p>道の駅に来る人は総合公園に行かない。公園の利用者は可能性がある。野球場は高校野球の予選ができないので、それをできるようにするなど。産業交流拠点ができることによって周りが活性化し、近隣が事業を起こしていくことが本来の目的と考えた方がよいのではないか。</p> <p>今の状態から考えると、集客は難しい。防災施設、子育て支援施設など、人が呼べる業態がいくつ来るか。道の駅という形に行田の物産が入ったときに、人が流れ込んでくるのか。実際に行田の物産館を作っても人は来ない。</p> <p>千葉の小学校が道の駅になっているが、過疎化していることを利用してプラスに転じている。行田の場合、人が来る立地ではない。産業交流拠点を整備する事で、周りが波及していくことが重要である。平成35年完成付近からどう周りを動かせるか。そういった連携が出来て初めて成功する。連携や、周りをどう活性化するかが大切である。</p>
小林委員長	基本計画が出来上がり、公開する。基本計画を変更するのかというのが本日の趣旨である。出てきたパブリックコメントによって素案を変更することはないと考えている。この基本計画で了承いただければ、完成ということになる。素案について変更ないということの問題ないか。

委員	異議なし。
小林委員長	それでは続いて議事2、今後についての説明をお願いします。
事務局（赤城）	（資料2）「産業交流拠点整備事業の今後について」説明。
小林委員長	意見はあるか。
太田委員	今後、ステップ1～5までの時期は決定しているのか。
事務局（赤城）	ステップ5の平成35年オープンは決定している。その間は民間企業が持ってくるものによって中身がずれてくるので、未決定とさせていただいた。
町田委員	前倒しの可能性はあるのか。
事務局（赤城）	民間が小さなことから始めるということになればあり得るが、用地確保や県との調整があり事務的手続きに時間がかかるので、早くとも平成35年になる。
小林委員長	<p>民間企業と直接話をした。HPで検討委員会の資料等も見ていて、ぜひ参加したいという話も聞いている。</p> <p>各ステップについて、はっきりした時期が言えない。土地がらみ、開発行為の法手続きなど、やることがたくさんある。今のところ事業展開のたたき台としてであり、実現するには土地が必要、法律的な制約の調整が必要となる。土地の確保について、10ha欲しいといって準備できるわけではない。当初の段階で〇〇ha、と決まってしまう。約30haまでは用意できると想定している。〇〇を作るから〇〇ha必要という理由が必要となる。必要面積が明らかにならないと用地も確保できない。</p> <p>市が入り込み、市が責任をもって土地の調整をするので民間も入ってきたくなる。企業として採算性がとれるということで営業の方が来ていると思う。</p>
町田委員	<p>今1丁目1番地は存在しない。1丁目1番地を作らなくてはならない。</p> <p>ショッピングモールは、どこが出るかによって、くっついてくる業者が違う。また、一つの街になる。インターから遠いとかではなく、そこに集客拠点を作るという話があると、企業は見ている。</p> <p>実際、中で撤退していくのは民間であり、くっついてきた飲食店が</p>

	<p>なくなっても新しい企業が入ってきて、景色が変わるので活性化にはよい。</p> <p>ただ整備までに年数がかかりすぎる。</p>
小林委員長	<p>頑張っ詰めても1年程度しか縮まらない。</p>
町田委員	<p>羽生市のカインズはすぐできる。羽生市は乱立していると聞く。</p>
小林委員長	<p>今後については、最終は平成35年、中間段階はまだ不明確である。</p> <p>平成29年度、拠点の具体的な予算はとってない。これから民間と調整しながら、予算が動くのは平成30年からとなるかと思う。基本計画が大切である。</p> <p>全9回、これで終わりとなる。</p> <p>今後基本計画をもとに進めていきたい。検討委員会の議事については以上となる。</p>
	<p>委員から本委員会の感想報告。</p>